

第22回
ひょうごSPring-8賞
公募要領

令和6年2月

ひょうごSPring-8賞実行委員会

(会長：兵庫県知事)

1 賞の趣旨・目的

放射光は、物質の解析、分析などを行うための画期的な手段として、材料科学、生命科学、環境科学及び医学などの様々な分野において学術研究・産業応用に広く利用され、科学的成果の創出に貢献するとともに、今後も更なる発展が期待されています。

兵庫県では、世界最高性能の大型放射光施設「SPring-8」やX線自由電子レーザー施設「SACLA」が立地する特色を生かし、産業界による放射光利用を支援することにより、放射光施設の普及促進と県内経済の活性化を目指してきました。

こうした背景を踏まえ、ひょうご SPring-8 賞は、SPring-8 における様々な成果の中から、実用化・製品化につながり社会経済全般の発展に寄与することが期待される成果をあげた方々を顕彰し、SPring-8 についての社会全体における認識と知名度を高めることを目的として実施します。

2 主催者

ひょうご SPring-8 賞実行委員会（会長：兵庫県知事）

3 賞の対象・基準

(1) 対象者

SPring-8 を利用することにより、科学的・技術的な成果を創出し、産業界への技術移転や応用を含め、社会経済全体への発展に貢献した個人又はグループ

(2) 対象となる功績

以下の①、②の両方を満たす成果

- ① おおむね5年以内に SPring-8 を利用して得られた成果
- ② 実用化・製品化につながった成果又は数年以内に実用化・製品化されることが見込まれる成果

(3) 対象となるビームラインの種別及び利用形態

利用したビームラインの種別及び利用の形態等は問わない。

4 賞

(1) 賞

表彰状、副賞（賞金10万円）

(2) 賞の数

1件程度

5 推薦方法

(1) 推薦者

推薦は本賞を受けようとする方（候補者）本人が応募する「自薦」と、本賞の候補者としてふさわしい方を別の方（推薦者）が推薦する「他薦」のいずれも応募可能です。（「自薦」の場合、応募内容について所属企業・団体内で了解を得ているものとして必要な手続きを進めますので、ご了承ください。）

(2) 提出する様式

推薦者（自薦・他薦とも（以下、同じ））は別添推薦書様式に必要事項を記入し、推薦書の電子データを「iuss@spring8.or.jp」に送信してください。

（メール送信時の件名：【ひょうご SPring-8 賞推薦書】）

(3) 留意事項

推薦者は以下の事項に留意してください。

- ・ 審査は原則書面審査のため、書類作成にあたっては候補者の功績をわかりやすく簡潔に記載してください。
- ・ 必要に応じて、功績に関連した補足説明資料（成果報告書、学会発表、プレスリリース、新聞記事等）を添付してください。この際、功績が分かる部分を抜粋して明示するなど工夫し、大部とならないよう（目安：20枚程度まで）ご注意ください。
- ・ 審査にあたり、必要に応じて事務局から書類内容の確認や追加資料の要求、ヒアリングの依頼など、推薦者に対して連絡する場合があります。
- ・ 本賞に推薦された候補者は、第22回（令和6年度）および第23回（令和7年度：予定）にわたって選考の対象といたします。ただし、令和6年度の推薦時以降に更新すべき内容があり加筆が望ましい場合には、令和7年度に再提出いただいても結構です。
- ・ 過去に、本賞に推薦された候補者の同一成果による再応募も可能です。ただし、推薦対象となる成果は、前回推薦時から実用化・製品化の状況、研究の進捗等の内容が更新されていることが望ましいです。

(4) 書類の提出先

SPring-8 利用推進協議会 事務局

〒679-5198

兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1（（公財）高輝度光科学研究センター内）

電話：0791-58-2785

E-mail iuss@spring8.or.jp

6 応募期間

令和6年3月21日（木）～令和6年4月30日（火）

7 審査方法

(1) 受賞候補者の選定

有識者で構成する「ひょうご SPring-8 賞選定部会」において、技術的・専門的見地から審査・選定し、受賞候補者を「ひょうご SPring-8 賞実行委員会」に提案します。

(2) 受賞者の決定

上記(1)により提案された受賞候補者について、「ひょうご SPring-8 賞実行委員会」において、総合的見地から審議し、受賞者を決定します。

8 発表

令和6年8月頃、推薦者及び受賞者本人へ連絡するとともに、プレス発表を行います。あわせて、兵庫県ホームページ等で公表します。

(公表内容は受賞者と相談の上決定しますので、技術的秘密は保持されます。)

9 表彰式

令和6年8月頃、神戸市内において開催します。

10 記念講演

受賞者には、令和6年9月頃に開催される「SPring-8 産業利用報告会」において受賞記念講演を行っていただきます。

【参考】直近10年間の受賞者・受賞テーマ一覧

回数 (年度)	受賞者名	受賞テーマ
第11回 (25年度)	飯原 順次 (住友電気工業(株))	放射光利用によるタンゲステン高効率サイクル技術の開発
	産業用専用ビームライン建設利用 共同体 (サビーム共同体)	コンソシアムによる放射光産業利用の活性化
第12回 (H26年度)	田中 裕久 (ダイハツ工業(株))	新規液体燃料電池自動車の開発
第13回 (H27年度)	今井 英人 ((株)日産アーク)	リチウムイオン電池の電子の動きを可視化する技術 開発と電気自動車用高容量電池開発への 寄与
第14回 (H28年度)	妹尾 政宣 (住友ベークライト(株))	超高引き裂き強度シリコンゴム開発への貢献
第15回 (H29年度)	山重 寿夫 (トヨタ自動車(株))	リチウムイオン電池の反応分布その場リアルタイム観察手 法の開発とその応用
第16回 (H30年度)	秦野 正治 (新日鐵住金ステンレス(株))	水素脆化を克服するステンレス鋼の開発に資する ナノサイズ結晶相の解析
第17回 (R元年度)	築瀬 香織 (クラシエホームプロダクツ(株))	ナノ構造情報に基づく乾燥肌を惹起しないボ ディウォッシュの開発
第18回 (R2年度)	久保 優吾 (住友電気工業(株))	高機能フッ素樹脂コーティングの普及に寄与した 原子レベル界面解析技術の開発
第19回 (R3年度)	山田 武 (阪本薬品工業(株))	保湿剤の肌ナノ構造への作用メカニズム解明と 製品化
第20回 (R4年度)	加藤 悟 ((株)豊田中央研究所)	ミクロ構造機能解明による次世代自動車三元 触媒の実用化
	小西 くみこ ((株)日立製作所)	SiCパワーデバイス実用化に向けた動作中デバ イスにおける結晶欠陥可視化技術の開発
第21回 (R5年度)	田村 俊紘 (花王(株))	紫外線が関与する毛髪うねり発生機構の 解明と髪にも使える日焼け止めの開発

※ 敬称略

※ 詳しい研究成果については、以下のホームページに掲載しています。



■URL : https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr11/ie03_000000168.html

【お問い合わせ先】 ※ 推薦書はP 3に記載した「5(4)書類の提出先」にご提出ください。

■兵庫県産業労働部新産業課科学政策班

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1（兵庫県庁1号館7階）

電話：代表078-341-7711（内線2212、2214）

E-mail Shinsangyo@pref.hyogo.lg.jp